



国際陶磁器フェスティバル美濃'20 INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL'20 MINO, JAPAN

CERAMIC
VALLEY
Mino
Japan

2020年9月18日(金)～10月18日(日)に開催を予定していた国際陶磁器フェスティバル美濃'20は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い延期することとなりました。準備の段階から開催に向けてご尽力いただいた関係者の皆様、様々な形で協力をいただいていた団体等の皆様、何より開催を楽しみにしていたお客様、誠に申し訳ございません。

新たな会期などは、決定次第発表いたします。延期となり大変残念ではありますが、開催を楽しみに待ちわびていただければ幸いです。今後も開催に向けて準備を続けていきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会事務局 赤塚 TEL 25-4111

6月の夜間在宅当番医

日	曜日	当番病・医院名	住 所	TEL
1	月	中央クリニック	日ノ出町1	22-3530
2	火	小西クリニック	笠原町1966	43-2188
3	水	池庭医院	宮前町2	22-1819
4	木	根本外科医院	高根町2	27-2821
5	金	安藤クリニック	豊岡町3	22-9388
8	月	精華医院	白山町1	22-3623
9	火	むらせクリニック	三笠町1	22-8499
10	水	浜田・浅井医院	太平町1	22-0522
11	木	太田医院	明治町1	22-0037
12	金	多治見眼科	十九町2	24-2225
15	月	田代町整形外科	田代町2	22-6717
16	火	タジミ第一病院	小名田町西ケ洞1	22-5131
17	水	西尾クリニック	金岡町1	24-0689
18	木	森本耳鼻咽喉科	明和町5	27-9333
19	金	いちはらこどもクリニック	小田町5	24-3411
22	月	多治見クリニック	音羽町2	22-5566
23	火	伊藤内科	太平町3	23-6578
24	水	仲西クリニック	明和町6	29-1181
25	木	おざき整形外科	太平町6	25-6101
26	金	横田耳鼻咽喉科	太平町4	21-2133
29	月	林かつひこ内科・循環器科	明和町4	20-2002
30	火	水田クリニック	音羽町1	22-5222

土曜日と日曜日、祝日の休日急病診療

時 土曜日…19:00～21:30(受付は21:00まで)

日・祝日…13:00～17:00(受付は16:30まで)

診療場所 社会医療法人厚生会 多治見市民病院
救急外来 診察室

●あらかじめ電話で連絡してください TEL 22-5211

7月の夜間在宅当番医

日	曜日	当番病・医院名	住 所	TEL
1	水	タジミ第一病院	小名田町西ケ洞1	22-5131
2	木	いなげ医院	滝呂町17	45-0077
3	金	おかざきまきこクリニック	幸町3	27-1200
6	月	浜田・浅井医院	太平町1	22-0522
7	火	豊岡医院	豊岡町1	21-2868
8	水	サニーサイドホスピタル	小名田町西ケ洞1	25-8110
9	木	はら内科クリニック	大畑町西仲根3	28-3223
10	金	林内科クリニック	栄町1	25-7755
13	月	中村こどもクリニック	前畑町3	24-1717
14	火	うすい整形外科	滝呂町12	43-3600
15	水	岡山内科・消化器科クリニック	宝町3	21-1717
16	木	笠原診療所	笠原町2837	44-2261
17	金	高羽クリニック	太平町3	23-5515
20	月	おおむらクリニック	宝町10	25-0166
21	火	光ヶ丘クリニック	光ヶ丘2	21-0510
22	水	うえだ整形外科	松坂町1	20-2022
27	月	たじみ内科	広小路2	22-2333
28	火	わたなべクリニック	明和町5	26-8666
29	水	ふくい内科クリニック	松坂町1	20-0660
30	木	夏目整形外科医院	錦町3	23-4720
31	金	倉知眼科	平和町7	22-5515

診療時間 19:00～21:30(受付は21:00まで)

●気象状況、諸般の事情により、急きょ休診となる場合があります。受診する場合は、当番医にあらかじめ電話で連絡してください

●夜間診療料が加算されます

問 保健センター 水野(祥) TEL 23-5025

※診療時間外は下記連絡先へ問い合わせください
救急医療情報センター TEL 23-3799



斉藤和義 KAZUYOSHI SAITO LIVE TOUR 2020 “202020”

にいまるにいまるにいまる



当初公演(4/26)の払い戻し分を再販売します。

時 8月2日(日)

17:00開場 17:30開演

料金 全席指定 6,900円

発売日 6月6日(土) 10:00からバロー文化ホール電話、チケットONLINEで

※窓口販売は行いません

※再販数は僅少です

※3歳未満入場不可、3歳以上チケット必要



▲斉藤和義

U-18 演奏サポート

反響板を設置した舞台上で練習しよう。

時 7月24日(祝金)・

25日(土)

9:00~19:00の2

時間ごと

対 中学生、高校生の団体

定 各日5組

料金 2,000円/1組

申込方法 市内の学校:6月6日(土)

市外の学校:6月13日(土)

一般:7月1日(水)

※12:00~電話で受付

※詳細は要項(ホームページ参照)で確認



令和3年7月使用の予約調整日

令和2年7月1日(水) 9:00~

令和3年7月の休館日、使用できない日

【休館日】6,13,20,27日

【使用できない日】全館…31日

※最新の施設予約可能状況はホームページをご覧ください

※表記のない場合、場所は大ホール

※表記のない場合、未就学児の同伴・入場不可

※車いす席についてはお問い合わせください

※Pマークの公演は、駅北立体駐車場の2時間無料サービスがあります

※Cマークの公演は、託児の受付があります(1人1回あたり1,000円、公演日の1週間前までに予約)

※この情報は5月15日現在の情報で今後変更する場合あり

公演延期・中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、下記の催しは延期または中止となりました。

※詳細は問い合わせ

- 第53回多治見市市民文化祭 ダンスの部
→11月8日(日)、12月6日(日)
- 宮川彬良×ぱんだウインドオーケストラ
→令和3年1月17日(日)
- 宮川彬良×ぱんだウインドオーケストラ
リハーサル見学
→令和3年1月17日(日)
- 二ツ目ふたり会~すい寄席~其の壱
→令和3年1月27日(水)
- おかあさんといっしょ
ガラピコぷ〜がやってきた!!
→令和3年2月6日(土)
- 高嶋ちさ子~ゆかいな音楽会~
→令和3年2月19日(金)
- ふらっとコンサート(6月)
→中止
- まるごと一日音楽の日 in たじみ
▶メインコンサート
→中止
- ▶キッズコンサート等、その他の催し
→延期(期日未定)

発売日の変更について

- 岐阜の若きヴィルトゥオーゼン
▶File.1 宇野由樹子・古田友哉
デュオリサイタル
- ▶File.2 谷口若菜 ピアノリサイタル
→7月4日(土)
7:00からチケットONLINE
10:00から電話
※窓口販売は行いません

19音市 マルシェ・ワークショップ 出店募集について

3月の「第12回スーパー手づくりマーケット」の中止に伴い、出店予定者を優先的に受け付けいたしました。そのため、今回は一般公募を行いません。

市民病院 だより

地域と共に考える医療

市民病院 TEL 22-5211



総合内科
笠置智道
かざさ ともみち



4月より総合内科に赴任しました笠置と申します。これまで愛知医科大学病院で、腎臓・リウマチ膠原病内科および精神神経科での診療に従事してきました。少し私の自己紹介をさせていただきますと、生まれは大阪、育ちは広島で、長く東海地方とはなじみのない生活を送ってきておりましたが、10年前、美濃加茂市の木沢記念病院に初期研修医として参り、その際に地域研修として、旧病院時代の市民病院にお世話になりました。それから10年たち、建物も新しくなり、診療規模もずいぶんと拡大したこの病院で、再び働けることを幸せに感じております。

さて総合内科は、さまざまな症状で来院された患者さんの最初の窓口となります。「熱っぽい」「お腹が痛

い」「ふらつく」「体がだるい」といった症状は日常生活でよく起こりますが、これらは心身のさまざまな原因で生じます。どこを受診したらいいか分からない場合、まずは当科でご相談ののります。

また現在の医療は専門化、細分化が進み、高度先端医療を担う病院ほど「この科ではこの病気しかみない」となりがちで、患者さんを総合的に診て、その悩みや苦しみに寄り添う医療が提供しにくくなっている現状があります。患者さんの抱えている複数の問題を考慮して治療を進めない、一方は改善しても他方は悪化してしまう事もあります。それぞれのバランスを取りながら、ヒトを総合的に診ていくことも総合内科の大切な役割です。市民病院に赴任してまだ日も浅く、まだまだ慣れない事も多くありますが、これまでの経験を生かしつつ、当地域が必要とされている医療を実践し、皆さまの健康を少しでも支えられるように頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもの権利を考えよう

子どもの権利相談室
「たじみ子どもサポート」から

問 くらし人権課・水野

TEL 22-11128

シリーズ
Vol.108

令和元年度に、子どもの権利についての意識と実態を把握し、市民の皆さんから意見をいただくための調査を実施しました。その結果をもとに自己肯定感について考えてみたいと思います。

◆自分のことが好きですか？

この問いに対する子どもの答えは、下の表のようになっています。「好き」と答える子どもの割合は、小学生、中学生、高校生と成長するにつれて下がっていることがわかります。

◆自己肯定感って？

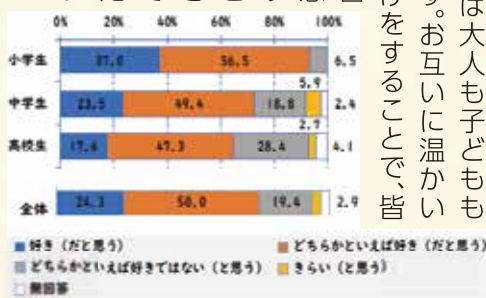
周りの人に自分を受け入れてもらうことによって、自分は大切な存在という思いが芽生えます。これを自己肯定感と呼びます。反対に周りのおとなが否定的なメッセージを伝え続けると、できないことを理由に自身を責めてしまう場合があります。このように自分を否定的に捉えてしまうことで、子どもの自己肯定感は低くなります。

す。自己肯定感が低い場合、他者を尊重することが難しくなる傾向があります。

◆自己肯定感を高めるために

令和元年12月に開催した第22回たじみ子ども会議では、学校や家庭の場面で言われて嬉しい言葉について話し合いました。同じ言葉でも気分の良い時と落ち込んでいる時では受け取り方が違うことや、積極的に前向きな言葉をかけてほしいという意見などが出ました。これは大人も子どもも同じです。お互いに温かい言葉がけをすることで、皆

さんの自己肯定感が高まり、自分のことを好きになってもらえたいと思います。



現在、多治見市文化財保護センターでは、企画展「尼ヶ根古窯 一瀬戸黒のはじまり」を開催しています。

尼ヶ根古窯は16世紀後半、千利休が活躍していた桃山時代に多治見市小名田町で操業していた大窯



で、初期の瀬戸黒が焼かれた窯として知られています。

瀬戸黒は美濃で生産されましたが、以前は瀬戸で焼かれたとされていたため、

▲瀬戸黒(浅間窯採集)個人蔵 瀬戸黒という呼称が付きました。鉄釉の製品を焼成中に窯から引き出して急冷させることによって黒く発色させる引き出し黒という技法で作られています。今回はこの引き出し黒についてご紹介します。

瀬戸黒の釉薬は鉄分が多い鉄釉です。焼成中に窯から引き出して急冷させると漆黒を呈しますが、引き出さずに窯の中で焼ききると柿釉ひなたのような茶褐色の製品になります。古瀬戸系あながまを焼いた日向古窯(室町時代操業の窯・土岐市)や、美濃大窯の初期の窯であ

る小名田窯下窯からも引き出して黒く発色させた色見本が出土していることから、このような技術は、鉄釉の製品を焼き始めた頃から分かっていたと思われます。

色調の変化がよく分かる例として、可児市の浅間窯から出土した色見として焼かれた陶片を見ると、釉層の薄いところは鉄分が



▲鉄釉皿(浅間窯採集)個人蔵

少なく、引き出したことによって緑がかった色をしています(写真①)。また、釉が厚めで鉄分が多く、焼けが進んでいない部分は黒くなっています(写真②)。

その後、江戸時代になると鉄釉の調合などの工夫により、焼成中に窯から引き出さなくても安定的に黒く発色する鉄釉が開発され、引き出し黒の製品は生産されなくなりました。なかでも18世紀以降に誕生した、いわゆる漆黒釉と呼ばれる黒色の鉄釉は、碗や徳利など様々なやきものに使用され、漆黒のやきものの量産が可能になりました。

土岐川観察館の自然だより

青と緑の物語

図 土岐川観察館 TEL 21-2151

部分日食を見よう

6月21日の夕方に、日本では部分日食が見えます。部分日食は、太陽が月に部分的に隠される天文現象です。この日は日曜日で、多くの方に見ていただけるでしょう。

このとき、中国や台湾では、金環日食として見ることができます。金環日食というのは、太陽を隠す月の方が太陽より小さいため、太陽が金環に見えるという現象です。日本全国でいうと、欠ける割合は、那覇が約84%、東京が約47%、札幌が約29%です。この地域では約51%が欠けます。約半分欠けるということですが、半月のように欠けるのではなく、丸い月が太陽の左下を隠す感じです。

部分日食の経過時刻を次に掲げます。

部分日食の始まり	16:08
部分日食の最大	17:10
部分日食の終わり	18:06

次に、部分日食を見る際の注意点です。直接目で見るはいけません。見る時は、「太陽メガネ」などの特別な減光フィルターで見てください。そうしないと、目をいためてしまいます。部分的に欠けるだけで、光度はそんなに変わりませんので、くれぐれも下敷きとかでは見ないようにお願いします。

また、この日は夏至といって、北半球では昼が一番



▲ 2019年1月6日の部分日食

長い日です。ですから、部分日食が終わってから、約1時間後の日没となります。

(地球村星倶楽部 西川重信)

自助・共助を意識した地域の皆さんによる 防災活動を紹介します。

※取材は令和2年4月に実施



問 企画防災課 小島 TEL 22-1378

まちを「まるごと元気」にするためには、防災力が必要です。特に、大規模災害から住民の命と健康を守るためには、自分たちの命は自分たちで守るという「自主防災」、コミュニティに根差して取り組むという「地区防災」が不可欠です。

この防災力の中心的な役割を担う自主防災組織は、地域をよく知っている「細やかな対応」、現場の近くにいる「迅速な対応」というメリットを持っている、コミュニティだからこそできる取り組みです。

新型コロナウイルス感染症のようには、予想もしていなかったことが現実になってしまいかもしれませんが、今回の特集では、自助・共助を意識した地域の皆さんによる防災活動を紹介いたします。

第32区 地域の団体と連携して 防災の取り組みを続けます

私は消防団活動を20年近く続け、分団長も務めました。この経験もあり、「地域の防災力を高めたい」と考えるようになりました。

旭ヶ丘は地理的に雨の心配は少ない地域です。必然的に地震に対して備えることが重視されます。平成30年には、市内に3カ所ある自主防災組織モデル地区の1つに認定されています。

阪神・淡路大震災の場合でも、近くの人との助け合いにより多くの命が救われました。大規模地震では救急車も消防車も警察もすぐには来ません。いかに普段のつながりや、地域の防災訓練が重要かということです。

第32区の各町内自主防災組織役員は1年交代です。しかし、地域の防災を知る人間が1年で代わってしまうのは、地域として災害に備えることは難しいのが現実です。第32区はさまざまな行事には、地域で活動をしている北栄消防分団や北栄校区安全協会などの団体に協力をいただいています。防災に限らず、日頃から助け合いながら地域活動が行われていることから、地域行事には子どもから高齢者まで多くの人に参加してもらえます。第32区民の皆さんには感謝しています。



酒向 進さん
第32区区長

地域の防災意識の向上に向け、防災講座と訓練を1年ごとに行っています。昨年度は12月に岐阜大学の東先生による防災講座を開催しました。汚い水でもお米を炊く方法や水無しでトイレを使う実験などを学びました。各家庭に必ず水（1日3リットル×人数）を5日分と非常食、カセットコンロなどを備えていただくことをお勧めします。

台風や地震はいつ来るのか全く予想がつきません。その時にいかに対処するか、その心構えを持つ。そのためには、毎年の防災講座や訓練により回数を重ね学び続けることが大切だと思います。

駅北庁舎で地域防災力向上 セミナーを開催しました。



防災講座講師を務める
東善朗先生

自分たちの地域や組織にとって、実際に役立つ災害への備えを検討し、実現することを学ぶために開催しました。岐阜大学の高木朗義先生と東先生が講師になり、2日間のコースで行いました。両日とも31名が参加し、参加者同士の意見交換もあり、各地域での防災活動に参考になったセミナーでした。



ハザードマップによる危険箇所チェックや食材カードを使って3日間分の献立づくりなどを体験

根本地域力 いざという時に役立つ 簡易トイレの使用法

平成23年に「ねもと地域力」(根本校
区地域力向上推進会議)が立ち上がり、
今年で9年目になります。私は平成25
年から活動に参加しています。

参加したきっかけは、顔見知りの人か
ら誘われたことです。全く何もわからず
始めた活動でしたが、始めてみるとけっ
こ参考になる事があり続けてみよう
と思いました。

「ねもと地域力」には6つのグループが
あり、私はその一つで防災グループの代
表を務めています。「日本」防災意識の熱
いまちづくり」を掲げ、水を使わないト
イレ・携帯トイレの体験会の推進、指定
避難所運営マニュアルの策定の推進、ど
根性ひまわり運動、我家の防災点検な
どの活動に取り組んでいます。



自宅のトイレにビニール袋と凝固剤を備える
ことで「水を使わないトイレ」を実践できる

中でも災害時に困ることの1つにトイ
レの問題があります。誰もが「番困るこ
とではないか」と思います。これまでに「水
を使わないトイレ」の体験会を24回実施
し773名の方々に参加していただきま
した。参加した方からは「とても参考に
なった」との声を聞きます。まずは知って
もらう事が大事で、そこから皆さまの家
にトイレ対策など災害への備えをしてい
ただけるのです。

根本校区に限らず、地域の活動や地
域の防災を気にしている人は、多くいら
っしゃるのではないかと考えています。

そんな皆さんと一緒に活動し、同じ気
持ちで取り組む事ができれば、これまで
以上に安心で安全な地域になっていくと
思います。



浅野 健さん
根本地域力

第34区 地域全体の 防災意識を高める

平成23年ホワイトタウンに防災委員
会が立ち上がりました。私は平成28年
に町内会長となった際に、防災委員を兼
任しました。町内会長の仕事は多岐にわ
たり、さらに防災委員の仕事は担うこと
はとても大変でした。また、地域の防災
力を高めていくためには同じ人間が複
数年防災委員を続けるべきだと考え、現
在まで町内の防災委員を続けています。

活動をする中で、地域の防災力は、自
分の町内だけではなく、地域全体の重要
な課題であると考えようになり、現在
は区の防災副委員長も務めています。

ホワイトタウンは19の町内会があり
ます。この町内すべての防災力を高めて
いくためには、継続した取り組みが必要
です。今後も地域の皆さんと協力しなが
ら、安否訓練を実施したいと思っています。



地域合同防災訓練の様子

防災委員の任期についても課題であ
ると考えています。また、多くの人に興
味を持ってもらえるように、独自の防災
ロゴマークを作り地域の防災意識を高
めたいです。

防災の取り組みに限らず、ホワイトタ
ウンの役員の地域活動への意識は非常
に高く、地域の人の財に恵まれているこ
ともホワイトタウンのいいところです。以
前に団地内でボヤがあつた際には、消防
車よりも早く消防団が現場に到着して
いました。まさに、近くの人間で支え合
っている共助意識の高さの表れです。

今は大丈夫でも、いずれ高齢となる状
況では、自分たちも今から「慣れておく」
「備えておく」ことが大切です。安心で
安全な地域を目指し、これからも地域の
皆さんと共に防災活動に取り組みたい
と思います。



近藤 稔さん
第34区(ホワイトタウン) 防災副委員長

新型コロナウイルス感染症対策として、
4月～5月8日までにいただいた寄付を紹介します。



4月21日(火) ① 株式会社ノア

4月23日(木) ② ③ 多治見市PTA連合会

4月27日(月) ④ ⑤ 中国四川省邛崃市、岐阜県華
僑華人会

5月1日(金) ⑥ 株式会社織部

5月7日(木) ⑦ 株式会社アクトス

5月8日(金) ⑧ アマゾンジャパン合同会社 多治
見フルフィルメントセンター

5月8日(金) ⑨ 多治見リバーサイドロータリーク
ラブ





昭和4年(1929)12月:新羅神社前からスタートした、多治見消防組の「美化デー」パレード。写真中央の消防自動車は昭和2年購入のもの。奥には、大正14年開館の映画館「多治見館」がみえる。



上、元治元年(1864)に鑄造された半鐘(『多治見消防史』(平成3年3月発行)より) 下、昭和16年(1941):本町1丁目での防護団による防火訓練

自主防災組織の今昔

自分たちのまちを自分たちの手で守ろうとする「セルフディフェンスの精神」は、いつの時代にも共通の思いではないでしょうか。

現在も多治見南消防署で保管されている元治元年(1864)鑄造の半鐘は、江戸時代、火災や洪水などが発生した際に危険を知らせるために使われていたものと考えられます。

明治中頃、立て続けに起きた大火災がきっかけとなり、多治見の各地域で消防組織が編成されました。有志による私設の「多治見消防組」は組員25名ほどの組織でしたが、これまでそうした組織を持たなかった住民にとっては、たいへん心強く感じられたことでしょう。

国際情勢が悪化してくると、戦闘機の攻撃から郷土を守る備えとして、消防組を母体とした防護団が結成されました。戦争が始まってからは、警防団が消防活動をはじめ、住民への防火訓練や講習会を行いました。

現在では、地元企業の有志や青年会などからなる自主防災組織が、各地域の防犯パトロールや児童・生徒の見守り、道路の危険箇所の改善などに取り組んでいます。



<現在の新羅神社前の様子>

映画館「多治見館」など周辺の建物の多くは変わってきているが、新羅神社は今も変わらず存在している。



スマートフォンで
広報たじみを
持ち歩き！

【編集発行】多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町21目15番地 開庁時間 8:30~17:15
TEL 0572-22-1111 FAX 0572-24-3679
E-mail hisyokoho@city.tajimi.g.jp https://www.city.tajimi.g.jp/



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送ります
https://service.sugumail.com/tajimi



▲地域みっちゃく生活情報誌®は、31都道府県137誌912万部発行、岐阜県は12誌73万部発行で世帯到達率90%です。多治見市では、『おりべくらぶ®』を44,570部発行しています。
※2020.4月末現在



▲『おりべくらぶ®』5月号の特集を検討する編集室スタッフの皆さん。



▲仕事の様子。伊藤さんは『『おりべくらぶ®』を通して、皆さんの心に残る温かい地元情報をお届けしたいです』と笑顔で語ります。

SPECIAL TALK

輝く現在

コロナに負けるな

がんばろう日本

伊藤ゆかりさん

おりべくらぶ編集室 室長
(株式会社中広)



株式会社中広が発行するハッピーメディア®地域みっちゃく生活情報誌®『おりべくらぶ®』は、多治見市に無料で各戸配布する地域情報誌です。ご当地の情報にこだわり、全世代が安心して読める内容と、季節に応じた企画を掲載しています。人と街をつなぎ、地域を活性化したい、地域の人々を元気にしたいという思いから、自社広告ブランドをハッピーメディア®とし、地域に必要な情報誌を目指しています。

今回の新型コロナウイルス禍のなか、地域で励まし合い、今を耐え、明るい未来へつなげていく一助になればと「つなごう、街の声。」を企画しました。「みんなで乗り越えよう!」と、多治見市長や多くの人から写真とメッセージをいただき、笑顔と声をつなげました。全国の姉妹誌も、表紙を「がんばろう日本!」に統一し、当社の強い思いを届けました。

地域情報誌は、そこに暮らす人のために、身近ですぐに利用できる情報を届け、地域の人と店・企業をつなぐ架け橋です。新型コロナウイルスへの対応を含め、環境の変化に合わせてチャレンジしながら進化させていくことで、情報コミュニケーションの可能性を広げていきます。これからも『おりべくらぶ®』は、地域と人の心をつなぎ、元気と幸せをお届けできるよう、努めていきます。

人口と世帯数の動き

2020年5月1日現在

総人口

109,900人 (前月比 +84人)

男 **53,484人** (前月比 +23人)

女 **56,416人** (前月比 +61人)

世帯数

47,180世帯 (前月比 +150世帯)

文化財 みつけた

きつねづか

狐塚古墳

笠原町神戸区



狐塚古墳は笠原川左岸の丘陵地帯にある円墳で県の史跡に指定されています。7世紀前半に築造されたと考えられており、直径は約11メートルあります。墳丘と石室がほぼ完全に残っているのは市内では狐塚古墳だけで、県下で唯一の双龍文環頭柄頭を始めとして、金環、勾玉、須恵器、土師器などが出土しました。